

市事研 会報 おおさか 翔

平成29年10月6日 発行 大阪市立小中学校事務研究会 会長 西尾 吉弘 編集 同事務局

ホームページアドレス：<http://www.y1.x312v.smilestart.ne.jp/>

第49回全国公立小中学校事務研究大会(京都大会)報告

平成29年8月2日(水)～4日(金)、ロームシアター京都/みやこめっせにおいて、「地域協働による学校づくりと地域づくり」～京から明日 古都から奏でる未来～と題し、第49回全国公立小中学校事務研究大会(京都大会)が開催された。

1日目は開会式のあと、「学習指導要領改訂」「教職員定数の充実」「業務の適正化・学校における働き方改革」「事務職員に期待すること」について、文部科学省初等中等教育局 初等中等教育企画課長 矢野 和彦 様より文部科学省行政説明が行われた。

午後からの全体研究会では、全事研活動報告とパネルディスカッションが行われた。全事研活動報告では、まず初めに全事研 情報推進部 部長 山本 将司 様より平成28年度11月に市区町村教育委員会を対象とした地域共存に関する定期調査から得たデータと、昨年度行われた全事研山形大会の参加者アンケートを基に「データから読み取る地域との協働と学校事務の現状」について説明があった。次に、全事研 研究開発部 部長 前田 雄二 様から「地域との協働を推進する学校事務の在り方」について、第193回国会にて可決・成立された法案「義務教育諸学校等の体制の充実及び運営の改善を図るための公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律等の一部を改正する法律」に触れながら説明があり、同法律の第37条の規定「事務職員は事務をつかさどる」の意味を共有したうえで、学校ガバナンス、カリキュラム・マネジメント、人材育成等をキーワードに、教育行政事務の専門性を有する唯一の職として求められている学校事務職員像が提示された。

その後、パネルディスカッションでは「地域協働による学校づくりと地域づくり」～地域との協働を推進する事務職員の役割と学校事務の未来～と題し、主に「地域協働の必要性」「地域協働の現状・課題」「地域協働を推進する事務職員の役割」の三つの論点で3名のパネリストからそれぞれの立場で討議された。

2日目は8会場で分科会が開催された。

本部研究分科会(全事研本部)「未来を担う子どもをはぐくむ地域協働と学校事務」

－子どもの育ちと地域づくりの好循環を生み出す地区学校事務室・事務職員の役割－

第1分科会(福岡支部) 新しい実践への第一歩

－学校経営参画のレシピ－

第2分科会(大阪小支部) 大阪の学校事務のグランドデザイン

－子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する学校事務の確立をめざして－

第3分科会(大阪中支部) 提案型の学校事務職員をめざして

－子どもたちの学びを豊かにするチームの一員として－

第4分科会(兵庫支部) 「あなたならどうする。」

－研修の先にある「地域のなかの安全・安心な学校」－

第5分科会(奈良支部) 学校事務を創る、挑戦からさらなる“しんか”へ

－笑顔あふれる学校づくり グランドデザイン「すまいる奈良」で子どもたちを「すまいる」に－

第6分科会(和歌山支部) 「きのくに和歌山プラン」

－子どものすこやかな成長を保障する学校事務－

第7分科会(京都支部) 京から発信!つなげる力・つながる心

－京都方式の「学校間連携」と「地域とともにある学校づくり」－



私たち市事研が担当した第3分科会では、午前中に「提案型の学校事務職員をめざして～子どもたちの学びを豊かにするチームの一員として～」と題し、学校教育のさらなる発展に向けて新たな提案を行うような学校経営への参画が必要であるとして、研究部員を中心に組み立てた提案実践、その実践内容を検証し考察した「めざす姿」や、提案型の学校事務職員が学校教育に対して今後、どのような場面でどのような提案ができるのか、「これからの提案」の可能性について研究発表を行った。

その後「明日からの提案に向けて」と題し、ワークシートに沿ってグループワークを行った。まず、各自が学校の課題やこれから取り組みたい提案などを記入し、グループ内で課題を共有した中からグループで課題を一つ決め、(1)課題の背景や原因(2)課題を解決・改善又はより良くするための提案内容(3)今回の提案に必要な知識や能力について考え、グループ用のワークシートに記入し、ホワイトボードに掲示した。グループワークのまとめでは、四つのグループが発表を行った。



午後からは、研究発表とグループワークについて、茨城大学大学院 教育学研究科 准教授 加藤 崇英 様にご講評をいただいた。その後、ご講評をいただいた加藤様、大阪市立小路小学校 校長 枝元 哲 様、大阪市立西天満小学校 事務主幹 宮本 愛治郎 様の3名をパネリストとしてお招きし、「学校事務職員に期待するもの」と題してパネルディスカッションを行った。

3日目はまとめの会と記念講演が行われた。まとめの会では、大会1日目の全体研究会、2日目の八つの分科会の各担当者から研究討議の成果や課題、今後の方向性、参加者からの意見等の報告があった。引き続き行われた記念講演ではまず、講師の清水寺貫主 森 清範 師から、学校事務の未来を表す一文字として、全国から応募があった134文字の中から一番多かった「輝」を御揮毫いただいた。その後「清水寺の梵鐘」と題した講演では、清水寺や「今年の漢字」について、ユーモアを交えて分かりやすくお話しいただいた。また、生きていることは様々な見えないものに支えられているということや、祈るということに伴う厳かな気持ちを表した「梵心」についてお話しいただき、「輝く人生を見つけて仕事に生かしてほしい」と講演を締めくくられた。

閉会式では、全事研の鳥本会長から挨拶があり、全事研旗が次年度の千葉大会実行委員長へと引き継がれた後、奥雲京都大会実行委員長の閉会宣言により3日間の大会が終了した。

大会に先立ち8月1日、平成29年度全事研定期総会が開催された。開会行事の後、平成28年度事業報告、決算報告及び監査報告、平成29年度会長・副会長及び監査の選出、常任理事の承認、平成29年度事業計画(案)、平成29年度予算(案)について提案があり、すべて承認された。

大阪府公立学校事務研究会第71回研修講座報告

7月7日(金) ホテルアウリーナ大阪において、文部科学省 学校業務アドバイザー 妹尾 昌俊 様を講師に「学校事務職員の現在と将来～これからの学校事務に求められるもの～」と題して、大阪府公立学校事務研究会第71回研修講座が開催された。

まず、着席したグループごとに、『「チーム」と「グループ」のちがいを考えることから、研修がスタートした。妹尾様から、平成27年12月の中教審答申「チーム学校としての学校の在り方と今後の改善方策について」について説明があり、『学校は大人が集まった「グループ」であり、かつ「チーム」であると言える』と述べられた。『どうすれば学校を「チーム」として元気にできるか。そのために学校事務職員としてどんなことができそうか。そもそも、あなたはどんなわくわくする仕事をしてみたいか』という投げかけがあり、現在の学校の課題点として、教科・学年・学級・職・個人による見えない壁がいくつもあること、目標の共有ができていないことなどを挙げられ、学校のビジョンと戦略(達成目標とストーリー)についてコミュニケーションをとり、校務分掌やカリキュラムマネジメントを通じた目標の共有と実践を行うことで、その壁をなくすことはできなくても乗り越えることができるのではないかと述べられた。

また、平成28年12月の中教審答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」にある「解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解いたり、定められた手続きを効率的にこなしたりすることにとどまらず」や、「主体的に

学び続けて自ら能力を引き出し、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして新たな価値を生み出していく」という、これからの子どもたちに必要と言われている資質・能力は、子どもだけではなく教員や学校事務職員にこそ必要といえるのではないか。「あなたは何者で、どんな仕事がしたいのか。ミッションとビジョンを持って社会のために挑戦できるのが公務員の魅力ではないか」と講演を締めくくられた。

最後に、①この研修を受けて最も印象に残ったこと②学校事務職員のミッションとは③②を受けてどのようなことにチャレンジしたいかを、グループごとに共有して研修は終了した。

第35回政令指定都市学校事務職員研究協議会報告

8月17日(木)～18日(金)の2日間、横浜市開港記念会館において、第35回政令指定都市学校事務職員研究協議会が開催された。

全体会では、事前のアンケート調査をもとに、学校事務職員の採用区分・職制・職域等について、各政令指定都市の権限移譲に伴う現在の状況などについての情報共有を行い、その後分科会に分かれて研究協議を行った。

第1分科会では、「移管後の状況報告及び事務研究会としての取り組みにおける諸課題」と題して、各政令市から今年度の採用や給与体系、諸手当、勤務労働条件、学校間連携の実施状況等について報告があった。また、事務研究会の今後の役割や、学校間連携や市教委との関わりなどについて意見交換を行った。

第2分科会(研究)及び第3分科会(研修)では、「移管後のそれぞれの活動状況報告及び今後の取り組みについて」として、各都市の現状報告や課題の確認を行ったうえで、今後の活動について協議した。政令市において、学校事務職員に求められる役割に対応する研究活動及び研修活動の目的や内容についてそれぞれの分科会で協議を行った。

次年度は、札幌市で開催する予定である。

お知らせ

● 全事研大会の記録集を発行します

第49回全国公立小中学校事務研究大会(京都大会)の記録集を発行します。
市事研分科会報告を中心に、より詳細な内容をお届けします。

● ホームページに「学校徴収金会計事務について」の資料を掲載しました

市事研HPの資料掲載ページに「学校徴収金会計事務について」に関する資料を掲載しました。

ホームページアドレス：<http://www.y1.x312v.smilestart.ne.jp/>

(大阪市立小中学校事務研究会で検索していただけます。)

ホーム画面 ▶ 「資料掲載」ページ ▶ ユーザー名・パスワード入力

※資料掲載ページ閲覧に必要なユーザー名とパスワードは会費納入済みの会員の方に別途お知らせしています。(9月30日現在会費納入確認済みの方が対象となります。以降は確認が取れ次第、随時お知らせします。)

● 今後の近畿圏各研究大会日程


第44回奈良県公立小中学校事務研究大会	12月1日(金)
第46回滋賀県公立小中学校事務研究大会	12月8日(金)
平成29年度京都市立学校事務研究大会	12月8日(金)
神戸市立小学校事務研究大会	2月6日(火)

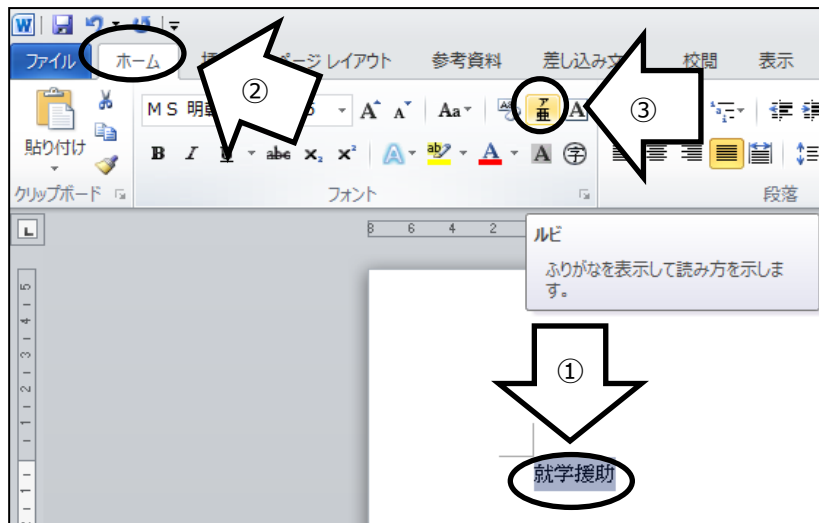
研修部PC講座

～ 《Vol.3》 フリガナの設定 ～

“就学援助” にフリガナを設定する。

①

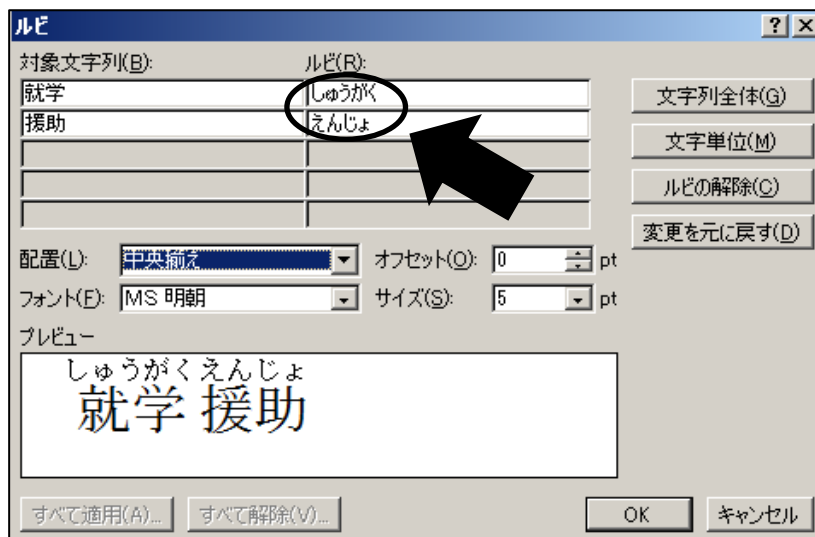
フリガナを設定したい文字を選択し、（ここでは“就学援助”という文字を選択）[ホーム]タブ[ルビ]あ  をクリックします。



②

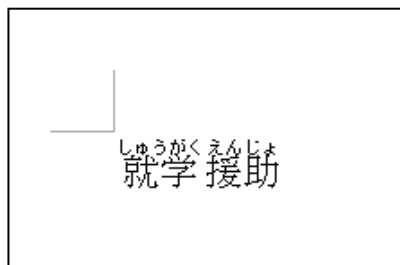
[ルビ]ダイアログボックスで、ルビが正しく表示されていることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。

ルビが間違っている場合は打ち変えたり、配置やフォントなどの細かい設定を行うことができます。



③

文字にフリガナが表示されたことを確認して完了です。



編集後記

2学期が始まって早くも1か月がたちました。行事が多く日々の業務に追われていますが、どんな時も季節を感じる心の余裕はもっていたいと思います。

秋風や虫の音、紅葉などはもちろんですが、私は特においしい食べ物で季節を実感します。先日も栗きんとんを食べて「秋だなあ。」と感じました。

みなさんはどんなことで秋を感じますか？ (O)

